

常盤塾

日時：2016年3月12日（土）15：00～18：00

場所：新国際ビル MBF ハウス

文責：常盤塾ライター 三藤剛照

メンバー：常盤さん、松永さん、今田さん、丸山さん、片平さん、上原さん、松山さん、松崎さん、臼井さん、大下さん、出井さん、古城さん、古川さん

（0）次回に向けての連絡

（1）1分間スピーチ

- 松永さん：ネイチャー等翻訳して出す所で欧米のところによい技術が抜かれており、その部分からのバックアップも必要。
- 今田さん：ホワイトデーのビスケットのように危険なものでも非常に低い確率のものを規制するのかどうかと思うものもあるし、ワクチンのような非常に低い確率でも苦しむ人がいるものがあるのでその判断は難しい。
- 丸山さん：本社と現場の二つのもつ、合理性と直感力が大事。
- 片平さん：常一主宰の不在。仏教のはなしからの引用として常に一人の人間が全てに影響を持つといった考えはありえない。
- 松崎さん：タイのほうでなぜ口にあってないものを食べているのか。
- 上原さん：関西の特徴として学生と教授、学部間の連携が強い。
- 松山さん：人間が自然界から感じたものが縄文土器にかかっている。書かれている者の中に楕円に描かれているものがあり、楕円思考のはなしと繋がっているように感じた。
- 臼井さん：海外で日本のものを海外ナイズしてやっていることへの危機感もっていたほうがよい。
- 出井さん：仕事をばりばりやる人がいる場合には出張がついてくるので夜間もみてもらうものが必要になってくるのだろう。
- 古城さん：AIが人間と同じように大局観をみるようになっている。車も **be a driver** とあるべきであると考えていたけど、AIもドライバーと認めるという方向になっている。F1が自動運転になるかもしれない。

大下さん、古川さんのお話をまとめそびれてしまいました非常に申し訳ございません。

（2）常盤さんのお話

テーマ：偶有性

現在のものの考え方で陥りがちなのが、ものごとを考えていくときにある一つのブラックボックスに入れて何がでてくると考えることである。

そうではなく操作可能な物がブラックボックスの箱の中にはあると考えるべきである。現在は一般に「科学はどうだ」という固定観念でできていてそれをある種のブラックボックスと考えていると思われる。

- カール・ポパー：「メタ概念」にはルールがあり、反証可能性が科学には必要である。科学をメタ概念として措定させる。これを前提として科学を変わっていくと考えられる。これまでの科学の例のように科学は実質的な内容を変化させながら本質的な内容は維持していく。元素がどんどん増えているのは、元素そのものではなく元素に対する考えが変わってきたからである。同様に従来 of 推計学、統計学の意味合いも変わってきている。科学は反証可能性を含んだ学問大系であり、文系だから理系のことをわからないというのはよくない。会社の経営は理科の部分もわからずにできない。

逆に偶有性を消去したらどうなるのだろうか。

人が何を作り出すかが問題なのに、どのようにお金を儲けるのかといったはなしばかりをしていると企業活動の本質を見失うのではないかと投資家は自分の金を通してよい物をつくるように会社の活動を応援するといった役割。経営者は人を活かして株主からきた資金を使ってよい物を作り出すそのため、会社は株主のものといったアメリカ的な解釈は間違っているのではないかと。少なくとも株主重視の経営は自律した経営ではない。そうすると流行物の経営手法の陥ってしまう。そのため株主は、金を出しても口はだすな、経営者は金の心配はせず人の心配をしろ。どちらも顧客に向かって仕事をしろ

- 片平さん：買ったならその人のものだっていう考えだとだめで、ジャガーについて持ち主はインドのタタだけお金を出すだけ。それで成功している。そのため、海外流出がなになんていう考えはナンセンスで自分が買ったならその人の物だっていう考えをしなければいい。
- 上原さん：もともと相互の信頼によって成り立っていたものが、腐敗している。それを元に戻すための ROE などの議論であり、ちょうどいい部分にもどればいい。
- 片平さん：究極の仕事は、どうしてもこの人たちと働きたいと思うようなものじゃないといけない。だめな会社はすぐ人がかわる。
- 松永さん：目標が ROI だと軍隊みたいになってしまう。

(2) 「良心」から企業統治を考える

資料参照

- 上原さん：禅を考えた時にこれは仏教なのかといったはなしで、悟った時には仏様はいらない。
- 松永さん：儀式に走ったものはだめで、インスピレーションのほうをしっかりと行けない。
- 上原さん：禅は世俗から離れすぎてしまう、お茶は世俗的なものに近いものとしてある。2つにはその差がある。
- 大下さん：茶会と茶事の違い。茶会はお茶だけでやるけど茶事はお酒やら何やらといろいろなものがでてくる。
- 出井さん：インスピレーションについては、茶道の所作は全て無駄がない動きでやっており、余計なことは考えない無の心でいることができる。
- 今田さん：禅は宗教ではない、禅は禅でしかない。
- 上原さん：枝葉を落とすように、無駄を削ぎ落とすといった思考が、人工知能などの議論に帰結しているものが興味深い。
- 片平さん：仏教自体がいろいろな宗教概念が取り入れられた一つの教義を強制したものではないのではないか。
- 常盤さん：実際にメタな部分は他の宗教では許されない。
- 古城さん：仏教にも原理主義があるのか？
- 今田さん：あります。
- 常盤さん：密教の世界は大自然の中に仏教の宿しているものを見るといった考え方。
- 片平さん：チベット仏教はわりと密教に近い。自分の中で無我や悟りが開けてくる、その部分に到達できるかといったところが最上位概念。
- 常盤さん：菩薩の表していることは仏の境地に達した人のことを表している。
- 松永さん：掛け軸を持っていなくても床の間は作っている。結局日本人が頼っているのは見立てがいいか悪いとか。
- 上原さん：禅が宗教っぽくないのは、禅の技術が移転可能だったからでしょう。
- 片平さん：書道の先生で作品書くときは正装する人がいる。他にも蝶ネクタイで厨房にたつ、などの行動をする人がいるがそれはある種の仕事にむかうことに対する儀式としてやっている。
- 常盤さん：同様のはなしで会社の取締役会で、軽い気持ちで話してはよくない。背広をしっかりと緊張をしっかりと伝えるような行動をすることを心がける。蝶ネクタイなどの行為もそれに通じる。